

第88回選抜高校野球大会第7日は26日、甲子園球場で2回戦3試合が行われ、八学光星は龍谷大平安(京都)に0-2で敗退、ベスト8入りはならなかった。このほか、木更津総合(千葉)明石商(兵庫)が勝って、準々決勝に進出した。八学光星は和田、櫻井の投手陣が龍谷大平安の強打線を5安打に抑える粘投を見せた

第88回 センバツ 高校野球

第7日

が、打線が散発5安打とつながらず、相手の好守にも阻まれ零封された。木更津総合は1点を追う三回、5長短打で4点を挙げ逆転。左腕早川が大坂桐蔭の反撃を許さず、4-1で破った。木更津総合は45年ぶりの8強入り。春夏通じて初出場の明石商は吉高が春夏4度の優勝を誇る東邦(愛知)を5安打に抑え、3-0で完封した。

光星打線 不完全燃烧

ベスト8逃す 得点機6度も10残塁

▽2回戦 9時2分 3000人

八学光星

1000 0000 0000 0000 0000 20

龍谷大平安(京都)

和田 櫻井 奥村
市岡 竹葉
奥村 奥村 奥村 奥村 奥村 奥村
奥村 奥村 奥村 奥村 奥村 奥村
奥村 奥村 奥村 奥村 奥村 奥村
奥村 奥村 奥村 奥村 奥村 奥村
奥村 奥村 奥村 奥村 奥村 奥村
奥村 奥村 奥村 奥村 奥村 奥村
奥村 奥村 奥村 奥村 奥村 奥村

【評】八学光星は得点手の好守で打ち取られ、手をお点に抑えられた。夏に向け、またまだ力足りない。八学光星・仲井泰基監督は、相手主戦の市岡投手が、1回戦ほどの調子で投げ出した。粘ってよく投げてくれた。相手の先発は想定していた投

仲井監督「仕留める力がない」

何度か訪れた得点機。そこで決定打が出ず、好守にも阻まれた。わずか2点差の敗戦。だが、点差以上の実力差は歴然だった。「平安の堅い守備、うちの打者の力のなさに大きな差があった」。仲井監督は完封負けに唇をかみしめた。一打、強打の光星復活に重点を置き、打撃強化に重点を置き、この日の打線は平安と同じく5本ながら、6四死球、得点圏に走者を置いたインナー数は6と、ともに平安を上回った。しかし、常に平安の背中を追いながら、要所では相手主戦・市岡の伸びと切れのある球に次々凡退。ヒット性の鋭い当たりも相手内野陣の鉄壁を崩すことはできず、残塁は10に上った。塁上に走者がいた全4打席で凡退した主砲益田は「緩急とコースを突く投球にフルスイングができなかった。4番として流れを変えられなかった」と言葉を絞り出した。象徴的だった

強打復活へ 主将「鍛える」

焦点

は6回。平安が安打で出した走者を本の犠打できつりとかえし追加点を挙げたに對し、八学光星は犠打を打ちあぐねた打者の打席途中で代打を出し、結果的に得点にも結びつけれなかった。「勝負どころで仕留める力がない。まだまだ打者の力がないと痛感した」と仲井監督は語った。「劣勢でも本来の打撃ができるよう、もう一度鍛えたい」。奥村主将はラインの決意を代弁する。夏に借りを返しに来るつもりだ。(本田海輝)

「龍谷大平安の市岡は、球の勢いが落ちてきていないゲームで勝利。いい経験になった。」と市岡が「全国レベルの田城2安打「自信」」

「内野ゴロを二塁へのヘッドスライディングで安打にするなど、随所に闘志あふれるプレーを見せた。八学光星の3番田城、2安打1四球と活躍した。」

先発和田「相手が一枚上」

ロッカールーム

つと、仲井監督がマウンドに送り出したのは「最近ずっと出来が良かった」（仲井監督）という

つと、仲井監督がマウンドに送り出したのは「最近ずっと出来が良かった」（仲井監督）という。投手打線の意表を突いた。

背番号10の和田。勝利に結びつかなかったものの、強打の龍谷大平安を相手に、5回まで被安打4と好投した。

先発を告げられたのは1回戦が終わった直後。予想外のことには驚いたが、2回戦までの5日間でしっかりと調整。「抑えてしっかりいなんだ」とマスを、仲井監督は拍手で迎えた。

和田にコーチした櫻井。和田は「負けたら怒る」と、半ば冗談めかして話を入れてたという。だが、六回途中まで粘投した和田の姿に「想像していた以上にいい投球だった。自分も気合が入った」と刺激を受けた様子だった。

安藤 成長して戻る

○…八字光星の控投

手・安藤は八戸市の白銀で育つ。元野郎の期待を背負っているが、変化球を強化して試合で投げられるようになる。俊益さん(46)は「親心で育てたい」と話した。

安藤は「変化球でもカウニング」と話した。

【八字光星】

打点	3	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安打	3	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
打率	.333	.200	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000

【龍谷大平安】

打点	3	4	2	0	1	0	1	0	0	1	0	0
安打	3	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
打率	.333	.250	.000	.125	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000

だが試合後の和田は「初回の失点が大きかった。試合を通じ、力不足で何もかも足りないと感じた。厳しいコースに投げられるように制球力を高め、夏に戻ってきて全国制覇したい」と成長を誓った。

またも近畿勢の壁

○…八字光星は3年連続で2回戦負け。それでも相手は全て近畿勢で、一昨年はこの日と同じ龍谷大平安。昨年は大阪桐蔭だった。

龍谷大平安に2年前のリーグ優勝をもたらした。井監督は「気持ちのどこかで平安さんに押されていた。伝統のあるチームに対し、乗り越えられない壁がある」と無念の表情。大阪出身の奥村主将は「関西のチームに負けた。きょうは勝負強さで差があった」と話した。

【龍谷大平安】

打点	3	4	2	0	1	0	1	0	0	1	0	0
安打	3	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
打率	.333	.250	.000	.125	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000

記録メモ ▷無失策試合 2回戦の龍谷大平安—八字光星で記録。今大会3度目。